

729-6

46608

本籍地	現住所	所屬部	入團年月	官階級	内地滞留開始年月日	外地滞留年月日	勤務ノ概要	發病(受傷)年月日	病名(受傷部位)	發病(受傷)又ハ
		南方軍駐隊司令部	二十六年八月	伍	氏名	生年月日	氏名 丁五 吉田 幸雄 二十六年八月五日 南方軍駐隊司令部(南方軍駐隊司令部) 二十六年八月五日 南方軍駐隊司令部(南方軍駐隊司令部)	二十六年八月五日	マラリヤ	マラリヤ 藥 養 大 調 養 科 全 身 フタツミ

死 災 害 出 世

511

死亡年月日時刻及場所

エ丁、入、エ丁日次、カウヤン

右申書ス

昭和丁二年 月 日

氏名	所屬部隊	現住所	本籍地
入嶺番號	官等級	上	山

備考

- (一) 本調書ハ係隊長又ハ發務取扱者等ニ於テ吳知方復員局人部部長宛通報シ非スト認ムルモノノミニ付記載ス
- (二) 吳知在場ノ特務士官、准士官、下士官、兵ニ付記載ス
- (三) 同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス
- (四) 知得シアル範圍ニ於テ出來得ル限り詳細ニ記載ス
- (五) 他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該局ニ相手方ヲ記載ス
- (六) 送付 知

吳市

吳知方復員局人部部長宛

華庚 護明書

元海軍六屬

一北七海月日

昭和辛酉八月廿六日

北七海月日

昭和辛酉八月廿六日

北七海月日

昭和辛酉八月廿六日

北七海月日

昭和辛酉八月廿六日

北七海月日

昭和辛酉八月廿六日

北七海月日

昭和辛酉八月廿六日

北七海月日

昭和辛酉八月廿六日

北七海月日

昭和辛酉八月廿六日

北七海月日

昭和辛酉八月廿六日

北七海月日

昭和辛酉八月廿六日

北七海月日

昭和辛酉八月廿六日

北七海月日

昭和辛酉八月廿六日

丁未夏四月申亥然獲身病瘳し後即東歸日身堅
弱古言力衰動之未人は事止す新舊（此の日本人多く現世及
二貴州名傳り奉中）是より此處作し以補我知して強御
強打し人事月満ちたり直ちに少作御玉務謀りて年
暮りより回復せざる存少時間後之海軍病院に入院
す是れ也也然れども意欲回復せざる想ふなり年刻磨
所果爾頃養識不明なり死七也（此の間）
病状寸一死後厚意に要望なり解別平術久結采
腔髓是れ也月主也死七一也之七は強由る水以
此和乎一也六月二十日

元海軍病院

1539

壁

籌西三浦軍工炸部現施掃屏工員調書

東坡先生集卷之五

65-12.

標用煎

癸卯年正月

給料（日給）

正 野 及 興 愛

場所

[illegible]

五
官
五
五

四
頭
以
外
人
者
也

與
實
五

10

第百五十五卷 新附 昭和十九年十月

五月

死

北緯義
北緯
北緯
北緯

७४

元一五五

新刊金瓶梅

理學一書

100

田(獵用)

11

11

100

1999



10

10-11-12

10

1998

801

通關、月日等處多有遺失。

イニハク小集二十一年九月四日

本
館
藏

電	有
所	最
屬	入
等	航

氏名

大 會
報 告

古語集

注意

一、本人ノ在籍地ノ府縣ニ別紙ニスル。
二、情況説明ニハ出家ノ経緯ヲツケ加ヘルコト。

資 料 通 報 名 票

(甲)

[illegible]

未帰還者等の番号

4006

25-11

456743

死没者調書

現住地

所屬部隊

出陣年月

官等級

出生年月日

戦地到着年月日

勤務概要

戦病(受傷)年月日

戦病(受傷)部位

戦病(受傷)状況

戦死年月日

戦死場所

本籍地：〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

昭和〇〇年〇月〇日

〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇

昭和〇〇年〇月〇日

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

P 869

111

昭和
年
月

中	木	籍	地
現	住	所	
所	屬	部	隊
氏	名		
考			

補考

本調書、部隊長又、殘務取扱者等、於吳地方復員局人
事部長宛通報、非、認、時記載、
吳鎮在籍者、特務士官、准士官、下士官、付記載、
同村縣人、勿論、他村縣出身者、就記載、
知得、範圍、出米得、限、詳細記載、
他人、聞、承知、事項、各當談、相手方、記載、
送付先

吳地方復員局人事部長宛

戦病死確認資料

一 申告者 三二轉根 下士官

一 現住所 [redacted] 方

一 戦病死者 海軍水兵長 [redacted]

一 本籍地 [redacted]

一 戦病死年月日 昭和二十年九月五日〇三三〇頃

一 病名 熱帯熱「マラリヤ」

一 戦病死場所 「タバオ」北方約三十五杆第二分岐點 (隊でつけた地名) の山小屋

一 所属部隊 第三十二特別根拠地隊

一 遺骨遺留品の處理 九月二十五日同地に埋葬遺品も全部埋葬せり

戦死状況

昭和二十年七月十三日發病(熱帯熱マラリヤ)同日戦戦病院入院下旬退院せりも糧食無く戦死十四名中九名死亡せり [redacted] は八月二十八日再度發病し身体衰弱し九月二日無言無食となり五日[redacted] 状態に死亡せり残りの戦友二人にて遺骨掘り新しい軍服に毛布で包み雨衣で覆ひ埋葬遺品も全部埋葬せり

[illegible]

第四百三海軍工作部理地排屋工員調善

張氏

戦病元 証 聖 賢 録

一 申 告

省 海 上 軍 隊 第 十 五 大 隊

陸 軍 上 等 兵

入 役 番 割

一 現 住 所

一 死 害

海 軍 上 等 主 計 兵

一 本 籍 地

一 遺 族 姓 氏 名

長 男

一 戦 死 年 月 日 時 刻

昭 和 三 十 年 九 月 八 日

一 病 名

コレラ 兼 大 腸 炎

一 戦 死 場 所

ル ソ ン 島 バ プ ラ オ 山 (日 本 名 高 地)

一 所 属 部 隊

三 三 一 設 想 隊

一 遺 骨 遺 品 の 處 理

現 地 處 理 (無 し)

一 戦 死 給 付 の 状 況

已 出 一 般 事 項 は 大 別 介 紹 し 必 ず し も 一 部 特 命 員 及 び 陸 軍 部 隊 と 行 動 を 共 に し て い ます が 中 心 事 項 は 過 去 戦 死 給 付 法 に 基 づ いて 同 部 隊 人 員 の 戦 死 給 付 状 況 を 記 載 し ます。

死後者調査書

173

57426

本籍地	[Redacted]		
現住所	[Redacted]		
所属部落	[Redacted]		
享年	氏名	性別	年齢
享年	氏名	性別	年齢
内通死因	[Redacted]		
死時年齢	[Redacted]		
勤務概要	[Redacted]		
死時年月日	不 明		
病名(受検報告)	不明		
死時状況	二月廿九日、急死、原因不明		
死時場所	自宅(東京都文京区)		

昭和 年 月 日

現住所	[Redacted]		
所属部落	[Redacted]		
氏名	[Redacted]		

一、本調査は、死後者の調査書を作成し、その結果を、関係機関等に提供することとする。

二、本調査は、死後者の調査書を作成し、その結果を、関係機関等に提供することとする。

三、本調査は、死後者の調査書を作成し、その結果を、関係機関等に提供することとする。

四、本調査は、死後者の調査書を作成し、その結果を、関係機関等に提供することとする。

五、本調査は、死後者の調査書を作成し、その結果を、関係機関等に提供することとする。

東京都健康増進局 調査部長 宛

死亡證明書

死者 海比第百參施設部士 班
勤務中昭和二十年七月十日於本州
於 宿病死之了了證明
昭和二十年七月十四日

44635

死 歿 者 訓 書

176

本籍地	現住所	所屬部隊	入國年月	官等級	内地港灣出發年月日	以地到着年月日	勤務・航要	遺病(受傷)年月日	名(受傷部位)
		部隊(第百十二特別輸送艦)	昭和十八年八月一日	水長	昭和十九年八月十日	昭和十九年十月	陸隊 防空機銃員 三五機隊銃(兼)	昭和二十年六月十日	三ノノ兼榮養大調子下山轉進不能
				氏名 生年月日					
				入籍番號					

（受傷）又ハ戦死
時ノ状況

官決（小銃）

死亡年月日
時刻及
場所

昭和三年九月十日 時刻不明 トウカ
（山ノ島山ヤード）

右報告ス

昭和三年 六月 九日

比島方面

籍地

任所

右 同

隊部

部隊

官等級

二曹

氏名

入籍番號

入籍番號

備考

右（中佐）部隊ニヨリ有線電報機ニ於テ編成セタリ。

- 一本圖書ハ部隊長又ハ左隊員等地方復興局人ト部長死後報告スベキ責任者ニ於テ知得シアラズ。既ムルモノイミニ付記載ス
- 二典範在籍ノ特務士 士官、下士官兵ニ付記載ス
- 三同隊人ハ勿論他隊員トモニ於テモ記載ス
- 四知得シアル範圍ニ於テ出資セタル隊員ハ各官職欄ニ相子万ヲ記載ス
- 五他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各官職欄ニ相子万ヲ記載ス

175-50

邦·海·陸

[illegible]

筑前肥前上の性尊を見ておいて下さい。(※及び筑前の名前は肥前及び三せん)